

赤を使えない場所

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Look above the door of your classroom. There is a small green sign with a running person on it. It shows the way out. Green is a strange choice, though. Danger is usually red.

That is exactly the reason. Inside a building, red already has a job. Fire extinguishers are red. Fire alarms are red. If the exit sign were red as well, it would be lost among them at the moment you needed it most.

There is a second reason. In a fire the air fills with smoke, and the light around you turns red and orange. Green stands out against that colour. In dim light, too, the human eye picks up green more easily than red.

The running person was designed in Japan, and it later became an international standard. It uses no words at all, so it works for anyone who walks in.

So look up on your way out today. You have passed under that sign for years without reading it. It has been telling you where to go.

〔語注〕 exit＝出口・非常口 fire extinguisher＝消火器 dim＝うす暗い

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 危険を知らせる色は、どの国でも赤に統一されている
- イ 非常口のサインは、文字で書いたほうが分かりやすい
- ウ 非常口のサインが緑なのは、ちゃんと理由がある
- エ 煙の中では、どんな色のサインも見えなくなってしまう
- (2) 非常口のサインに赤が使われないのはなぜか。本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 建物の中で赤はすでに消火設備の色になっているから
- イ 赤い塗料は緑の塗料よりも値段が高くついてしまうから
- ウ 赤はどの国でも禁止の意味を持つ色とされているから
- エ 赤いサインは夜になると光を反射しなくなってしまうから
- (3) 火事のときや暗い場所での見え方について、本文が述べていることは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 赤は緑よりも、煙や暗がりの中でははっきりと見える
- イ 色による見えやすさの差は、明るさとは関係していない
- ウ 煙の中では、緑も赤もまったく同じように見えなくなる
- エ 緑は赤よりも、煙や暗がりの中で目に入りやすい
- (4) 筆者が最後にすすめているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 今日の帰り道に、頭の上のサインを見上げてみる
- イ 教室の非常口のサインを、赤いものに取り替えてもらう
- ウ 非常口のサインに、文字の説明を書き足しておく
- エ サインの意味を、外国から来た人に説明できるようにする

赤を使えない場所（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ウ	第2・3段落が2つの理由を並べ、最終段落で読者に返している。アは本文に書かれていない。
(2)	ア	第2段落 red already has a job / it would be lost among them。「目立たないから」ではない。
(3)	エ	第3段落 Green stands out against that colour / picks up green more easily than red。アは逆。
(4)	ア	最終段落 look up on your way out today。ウは第4段落 It uses no words at all と食いちがう。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「危険は赤」という常識のほうが根拠になって、非常口のサインだけは赤にできない—前提から結論が反転する型の英文です。(2)は「赤は目立つから」で答えた生徒が落ちます(本文の理由は目立つかどうかではなく、建物の中で赤の役目がすでに埋まっていること)。読み終えたあとに教室の扉の上を見上げさせると、何年も毎日その下を通っていた紙が、読める記号に変わります。防災訓練の前の時間に配ると、避難経路の確認と直結します。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意(スキミング)	思考・判断・表現	概要把握。常識と逆になる主題を選ぶか
(2)	明示情報	知識・技能	理由の読み取り。「目立つから」ではない本文の根拠を取れるか
(3)	明示情報	知識・技能	煙と暗がりでの見え方の比較。逆にした誤答を切る
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者にできること」を選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります(基礎=選択肢も日本語/標準=選択肢が英語/発展=設問も英語)。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います(配り分けのときの写し合い対策にもなります)。

